

聞く力

先日、岸田総理が石川県を訪問されました。その際に輪島市で住民との懇談会が開催され、奥能登2市2町の住民8名が岸田総理と意見交換を行い、私もその場に立ち会うことができました。それぞれが、自らの仕事や生活の課題、地域の課題や思いを話し、そのひとつひとつに岸田総理がていねいに答える姿がとても印象的でした。短い時間でしたが、能登に暮らす人々の声を岸田総理に直接聞いて頂くことはとても有意義なことでした。また、参加できた住民の方々にも貴重な経験になったのではないのでしょうか。

岸田総理はよく、「聞く力」をアピールされています。「人の話を聞くことが信頼の原点だと思っている。聞く力は誰よりも優れている」という発言もされており、今回の懇談会はまさにそのことを実践されたということでしょう。

仕事をする上で「聞く力」は大事だと思います。特に福祉や医療など対人サービスに従事する方にとっては必要とされるスキルです。心理学では「傾聴」といい、三つの原則が必要とされています。まず「共感的理解」、相手の立場になって共感しながら理解すること。二つ目は「無条件の肯定的関心」、相手を評価・否定せず肯定的で好感を持った態度で話を聞くこと。三つ目は「自己一致」、分からない時は分からないことをはっきりさせ

ながら理解して聞くことの三つの原則です。自らもこのことを意識しながら仕事をしてきました。

人は誰もが自分の思いを言葉で表現できるとは限りません。「うまく言えなかった」、「言い足りなかった」、「そんなつもりではなかった」と感じる経験はだれにもあると思います。そうした人の話に根気よく耳を傾け、真意を理解することで、信頼関係を築き、適切な援助ができる。これはどんな分野の仕事においても通じることです。岸田総理は自らの経験でこのことを学ばれたのではないのでしょうか。

町政を預かる身として、そして組織の長として、改めて町民や職員の声に耳を傾けることの大切さを実感した今回の懇談会でした。

町長コラム

Mayor Column Vol.2

筆 おもむくままに

穴水町長 吉村 光輝

